

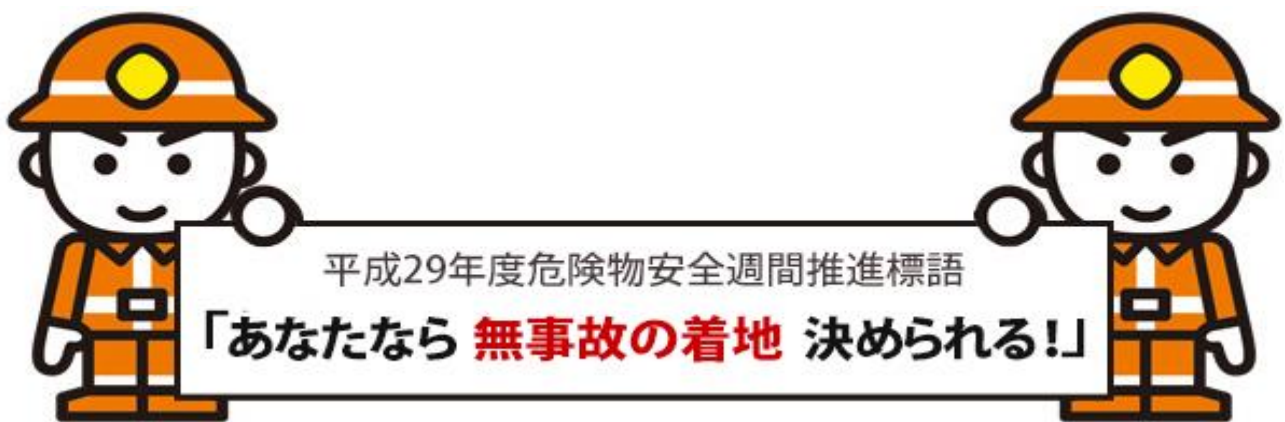
# 危険物安全週間

平成29年 6月4日(日)～6月10日(土)

今日、石油類をはじめとする危険物は、事業所等において幅広く利用されるとともに、国民生活に深く浸透し、その安全確保の重要性は益々増大しています。  
このため、事業所における自主保安体制の確立を呼びかけるとともに、広く国民の危険物に対する意識の高揚と啓発を図ることとしたものです。

## 推進項目

- ・ガソリン携行缶を**安全・安心**に使う5つのポイント
- ・セルフ式のガソリンスタンドを安全に利用するために



川越地区消防局予防課

## ガソリン携行缶を**安全・安心**に使う5つのポイント

### 1 ガソリンの**危険性**について

ガソリンは気温が $-40^{\circ}\text{C}$ でも気化し、小さな火源でも引火し、爆発的に燃焼する物質です。  
(軽油は $+40^{\circ}\text{C}$ で気化します。)

### 2 ガソリンを入れる**容器**について

ガソリンを入れる容器は、消防法令により一定の強度のある材質を使用することと、容量が制限されています。

特に灯油用ポリエチレン缶にガソリンを入れることは非常に危険ですのでやめましょう。

### 3 ガソリンの**購入**について

ガソリンの購入は、消防法令の基準に適合した容器で、ガソリンスタンドにて購入してください。  
(セルフスタンドでは、利用者自らガソリンを容器に入れることはできません。)

### 4 ガソリンの**保管**について

ガソリンは揮発性が極めて高く、火災が発生すると爆発的に広がるので、ガソリンを容器に入れて保管することは極力控えてください。

### 5 ガソリン携行缶の**取扱い**について

パッキンの劣化、キャップの締め方の不備等、注入口からの漏れによる危険物の漏えい事故の報告がありますので、使用時には取扱説明書をよく読み、適正な取り扱いをしてください。

川越地区消防局予防課

# セルフ式のガソリンスタンドを安全に利用するために

## ◎案内に従い駐車！エンジンOFF！

矢印などの誘導に従い、白線などで示された場所に停車し、必ずエンジンを停止しましょう。

## ◎スタンド内は安全運転で！急発進、急ハンドルは危険です！

スタンド内は、様々な機器や他の顧客の車もあり、運転には十分な注意が必要です。急発進、急ハンドルは避け、誘導がある場合は、誘導に従いましょう。

## ◎静電気除去シートにタッチ！

私たちの体には静電気が帯電しています。この静電気の火花が給油口から出てくるガソリンの可燃性蒸気に引火する事故が発生しています。

給油キャップを開ける前に、静電気除去シートに触れ、静電気を除去してから給油を始めましょう。

## ◎正しい操作で給油を！

給油ノズルは、給油口の奥まで差し込み、レバーを確実に握り、給油を行いましょ。

## ◎注ぎ足し給油をしないで！

自動車等の燃料タンクが満タンになると、オートストップ（満量停止装置）が作動し給油は自動的に停止します。

オートストップ作動後の注ぎ足し給油は、燃料が給油口から吹きこぼれることがあり、大変危険ですのでやめましょ。

## ◎給油キャップの置き忘れ注意！

給油キャップをしめ忘れたまま走行すると、給油口からガソリン等の燃料やその可燃性蒸気が漏れるおそれがあり危険です。給油が終わったら給油キャップの閉め忘れに注意ましょ。

## ◎ガソリン携行缶には入れられません！

セルフ式のガソリンスタンドでは、顧客自らがガソリン携行缶に燃料を入れる行為は禁止されています。それ以外にも、「火気厳禁」等、安全に使用するための注意事項が表示されています。これらのことを守り安全に給油作業を行いましょ。

## 川越地区消防局予防課